

新丸ビル「エコツェリア」を戦略拠点とした、大手町・丸の内・有楽町地区における、  
地区一体となった環境イノベーション・プラットフォームづくりの推進活動

A社	B社	C社
CSRの推進	CSRの推進	CSRの推進
省エネ対策	省エネ対策	省エネ対策
温暖化防止対策	温暖化防止対策	温暖化防止対策
環境アクションプログラム開発	環境アクションプログラム開発	環境アクションプログラム開発
アクションの成果発信 広報・PRへの展開	アクションの成果発信 広報・PRへの展開	アクションの成果発信 広報・PRへの展開

A社	B社	C社
自社独自の取り組みを 重点開発・発信	自社独自の取り組みを 重点開発・発信	自社独自の取り組みを 重点開発・発信

**各社がそれぞれ展開する  
環境対策**

**共通の課題**

- ・環境アクションプログラムの不足
- ・継続的な運営ノウハウの不足
- ・取り組みへの社内協力者の不足
- ・コストパフォーマンス評価への不安
- ・他社と似たり寄ったりになってしまうなど

**連携して一緒にやれば・・・  
もっと合理的にできるのでは？**

FM的な発想に  
基づく連携・共有化による  
合理化・最適化

**大手町・丸の内・有楽町  
エリア共有のプラットフォーム  
エコツェリア協会**

環境アクションの実践の場を共有

先進技術の開発・蓄積の推進

丸の内発の発信とブランディング

共通のツールや評価の枠組み

相乗効果によるバリューアップ  
トータルコストの削減と内部資源の集中  
フィードバックによって確保される  
拡張性

など

**活動を通じて(ファシリティ=経営資源)への  
適切な価値判断のまなざしを育みます**

# 大丸有（大手町・丸の内・有楽町）地区における「面的な」環境共生への取組み



大手町・丸の内・有楽町地区（東京都千代田区）では、我が国を代表するビジネスセンターとして都市機能の更新が進んでいますが、まちづくりの中では積極的な環境対策が行われていると共に、オフィスワーカーや来街者にご参加いただくソフト面での取組みも進んでいます。



## エリア版CSR報告書の作成

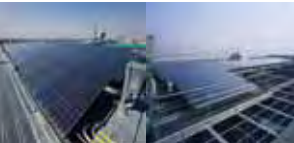
2008年からは、エリア版のCSR報告書を作成。「大丸有の通信簿」として、エリア内でのエネルギー・消費等を分析しているほか、エリアとしての環境共生への取組みを広く紹介しています。



## エリア環境ポータルサイトによる情報発信

丸の内地球環境新聞による地区内の環境活動のリアルタイム情報のほか、国や自治体の動き、世界の情勢や先進技術の動向などを、エリア共有の情報として発信しています。

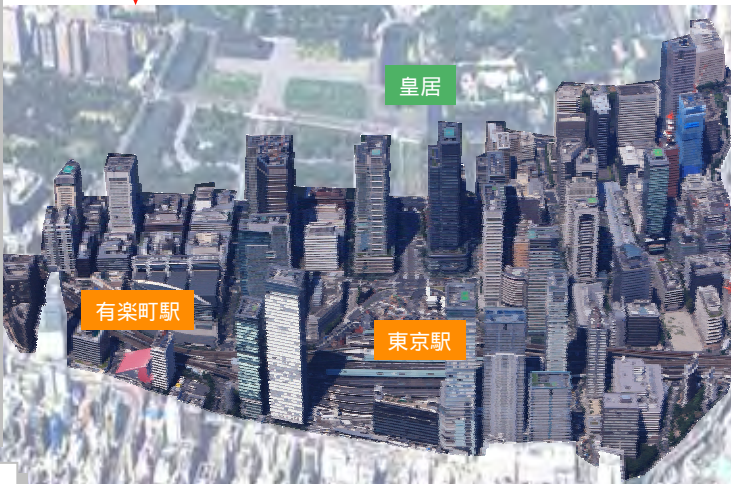
## 太陽光発電装置の設置



丸の内パークビル 三菱UFJ信託銀行本店ビル

ビルの屋上には太陽光発電装置を設置し、再生可能エネルギーの活用にも努めています。

ビル名	発電能力
丸の内ビル	10kW
三菱UFJ信託銀行本店ビル	20kW
新丸の内ビル	20kW
丸の内パークビル	60kW



## 交通による環境負荷の低減



丸の内シャトル 充電ステーション（新丸ビル）



三菱地所が導入する電気自動車（デザインイメージ）

2003年8月から運行を開始したエリア内無料巡回バスの丸の内シャトルは、環境にやさしい低公害ハイブリッド電気バスを活用し、エリア内企業の協賛を得て「シャトルバス運行委員会」が運営しています。また、エリア全体で電気自動車の活用を促進するため、ビルの駐車場に充電ステーションを整備しているほか、エリア内企業の電気自動車の導入も進んでいます。

## エリア一体で面的に開催される環境イベント



出勤前の朝を有効活用する健やかなワークスタイルを提案するセミナー群「朝大学」、丸の内仲通りでの一斉打ち水、夏休み期間に行われる子供向け環境セミナー「エコキッズ探検隊」など、幅広い層に参加いただけるイベントを開催しています。

## 地域の環境戦略拠点「エコツェリア」の開設



2009年10月 低炭素型 実証オフィスを設置

運営は一般社団法人「大丸有環境共生型まちづくり推進協会」が担い、次世代環境技術の実証的な研究や成果展示を行っている他、戦略的なシンポジウムや環境セミナーを活発に開催しています。

## ヒートアイランド現象の抑制



ビルの屋上や壁面を可能な限り緑化したり、ドライミスト発生装置を設置し、ヒートアイランド現象の抑制に努めています。

## 新規ビルにおける環境配慮（丸の内パークビルディング）

